

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年03月17日

計画の名称	広島駅周辺地区(2期)都市再生整備計画												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	広島市												
計画の目標	広島駅周辺地区(新都心成長点)の拠点機能を強化し、陸の玄関にふさわしい新たな賑わい空間を創出する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	5,800	A	5,800	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H27当初)	中間目標値 (H29末)	最終目標値 (H32末)
1	広島駅の1日平均乗車人員を増加させる。 広島駅の1日平均乗車人員 (広島駅の1日平均乗車人員) = (広島駅から乗車した人の日平均数)	72040人	73120人	73840人
2	広島駅方面から広島市民球場までの歩行者割合を増加させる。 広島市民球場入場者アンケートにおける広島駅方面から広島市民球場までの歩行者割合 (広島駅方面から広島市民球場までの歩行者割合) = (往路の交通手段を「JR」と答えた票数) / (アンケートの当該項目の全標本数)	39%	40%	42%
3	広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「広島駅や広島駅周辺における歩行環境の満足度」を向上させる。 広島市が実施する「行政評価制度市民意識実態調査」の「広島駅や広島駅周辺における歩行環境の満足度」 (広島駅や広島駅周辺における歩行環境の満足度) = (「満足している」または「まあ満足している」と答えた票数) / (実態調査の当該項目の全標本数)	52%	53%	55%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H28	H29	H30	H31	R02				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
都市再生整備計画事業	A10-001	都市再生	一般	広島市	直接	広島市	-	-	広島駅周辺地区(2期) 都市再生整備計画	地域生活基盤施設 43ha	広島市						5,800		-	
												小計						5,800		
												合計						5,800		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
道路交通局道路部街路課で評価を実施	R5.3
	公表の方法
	広島市HP
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	本整備計画では広島駅自由通路の整備を行い、駅の南北に新たな歩行者ネットワークを創出した。また、新たに商業施設や業務用施設が建設された広島駅北口地区と、幹線道路を越えて新幹線口広場をつなぐ新幹線口ペDESTリアンデッキを整備し、平均101,490人/日が利用する拠点駅である広島駅の歩行者の回遊性を向上させた。 定量的指標については、新型コロナウイルス感染症等の影響により、評価時点では目標数値に達していないものの、今後、新型コロナウイルス感染症の収束や、広島駅南口再整備事業の完了に伴い、効果が発現していくことが期待される。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	広島駅自由通路や駅前広場等の整備を契機として、地域資源を活用したまちづくりの機運が高まり、地域住民や事業者、行政が一体となってまちづくりを進めることを目的に平成27年3月に設立された「エキキタまちづくり会議」では、マルシェやスイーツラリー、地域の清掃活動のほか、新幹線口ペDESTリアンデッキ完成時には開通イベントを行うなど、様々な人々が交流し、賑わいと活力を高める活動がなされている。
特記事項（今後の方針等）	
本要素事業の広島駅周辺地区（2期）都市再生整備計画については、広島都心地区（期）都市再生整備計画に移行して引き続き整備することで、都心の東西の核である広島駅周辺地区と紙屋町・八丁堀地区の連携強化や安全で快適な歩行空間を整備し、居心地が良く歩いて楽しく回遊できる環境づくりを進め、更なる活力とにぎわいの創出を図る。 整備効果の発現状況については、3つの定量的指標（広島駅周辺の歩行者交通量の増加 広島駅や紙屋町・八丁堀周辺における歩行者環境の満足度の増加 広島駅周辺地区で行われる賑わい創出イベント等の回数の増加）で確認する。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因	
1	最終目標値	73840人	新型コロナウイルスの影響により、広島駅の乗車人員が減少したため。（令和元年度は77,042人/日）
	最終実績値	50745人	
2	最終目標値	42%	新型コロナウイルスの影響により、JRの利用者が減少したため。
	最終実績値	33%	
3	最終目標値	55%	広島駅南口広場の再整備を行っており、歩行者導線の切替え等が発生しているため。
	最終実績値	46%	